

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	③環境保全	4	地球環境の保全

事業名	仲よし学級運営事業	担当課名	スポーツ青少年課
-----	-----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
留守家庭児童会(仲よし学級)の児童を対象に、環境問題に関する学習の機会を設け、地球環境保全の重要性について啓発を行う。
(事業概要等)
環境学習講座の実施

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,383	786	770	754	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
参加延べ人数	人	720	681	1,075	700
講座実施回数	回	40	15	16	16
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
R5年度は、全学年が参加できる食品ロスに関する講座を取り入れたことで、参加人数や講座実施回数が増加した。また、前年度と同じく、講座の一部を環境落語として実施した。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	低学年でもより一層参加しやすい講座にするため、ゲームを通して環境学習を学ぶ講座を改良して実施した。加えて、講座の一部を環境落語として実施した。
------------	-------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	講座内容について、ゲーム性の強い講座を実施するなど、もっとわかりやすく、継続して関心につながる取組を実施すべきである。
-----------------	-------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 低学年から高学年まで興味・関心を持ってもらえるよう、毎年講座内容の見直しを行うことで、参加児童からも「楽しかった」という感想を得ており、本事業の継続により児童の環境問題への取組に結びついている。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	4	つながりある教育体制の充実

事業名	放課後子ども教室推進事業	担当課名	スポーツ青少年課
-----	--------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地域の方々子どもたちが、共に行う学習やスポーツ・文化活動等の取組を支援し、心豊かでたくましい子どもたちを地域全体で育むことを目的とする。
(事業概要等)
毎週土曜日に校区の児童に安全・安心で日常的・継続的な体験活動の場を提供する「浜パティオ」の事業委託。 放課後の子どもの居場所づくり事業として、年に数回の総合型地域スポーツクラブによる放課後子ども教室(子どもジュニアカレッジ)の事業委託。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	100	242	249	251	
うち市負担分(千円)	1	171	186	186	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
「浜パティオ」参加登録者数	人	-	78	88	100
「子どもジュニアカレッジ」参加延べ人数	人	80	42	90	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和5年度については、浜パティオ、子どもジュニアカレッジ共に実施し、合計178人の児童が参加し、体験活動の場を提供することが出来た。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	子どもジュニアカレッジについては、仲よし学級に出席している児童にもより一層周知をし、参加を促した。
------------	---------------------------------------------------

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	地域で活動するスタッフの高齢化や担い手不足が課題である。
-----------------	------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 事業に継続性を持たせるために、地域人材の発掘に注力していく必要があるため。
改革・改善策等の具体的内容	教育委員会で推し進めるコミュニティスクールとの関連等も視野に入れながら、児童に多様な経験の機会を継続して提供していけるよう、地域人材の発掘手法について調査研究を進める。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	②青少年育成	2	青少年の社会参画の推進

事業名	二十歳のつどい事業	担当課名	スポーツ青少年課
-----	-----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
次世代を担う二十歳の若者を祝うとともに、成人としての自覚を促すために、二十歳のつどいを実施する。
(事業概要等)
大学生などの若者を中心とした実行委員会の企画、運営による二十歳のつどいを開催し、二十歳の門出を祝う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,391	2,059	2,298	2,305	
うち市負担分(千円)	1,719	996	2,298	2,305	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
二十歳のつどい出席率	%	74	72	76	80
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
二十歳のつどい(旧成人式)の出席率は府域全体と比較しても高い値となっている。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	令和5年度は、開催場所を総合体育館からテクスピア大阪に変更して実施した。
------------	--------------------------------------

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	企画委員については毎年公募をしているが応募数が少なく、選出方法を検討する必要がある。また、R6年度については、開催場所が未定であるが、近隣への迷惑防止について、考えていく必要がある。
-----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 企画委員の確保と、式典内容の見直しが必要であるため。
改革・改善策等の具体的内容	企画委員の公募開始時期を例年より早め、委員の確保に努める。 R5年度に実施したアンケート等をもとに、「二十歳のつどい」の実施内容を企画委員とともに進めていく。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	②青少年育成	1	健全育成の環境づくり

事業名	青少年指導員活動支援事業	担当課名	スポーツ青少年課
-----	--------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
青少年の健全育成と非行防止を目的とした活動を青少年指導員協議会に委託し、青少年が健全に育まれる社会の実現を目指す。
(事業概要等)
市長より委嘱された各校区で活動する青少年指導員を支援する。青少年指導員の活動としては、「少年を守る日」の街頭啓発や祭礼時の夜間パトロールなどがある。また、市民体育祭、成人式、泉州国際マラソンなど市内で行われるイベントの運営にも携わっている。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	793	948	951	951	
うち市負担分(千円)	793	948	951	951	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
青少年指導員数	人	88	92	91	90
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
二十歳のつどい(旧成人式)やスポーツフェスティバル(旧市民体育祭)など様々なイベントの運営に携わっており、地域の協力を得ながらイベントを実施するにあたり欠かせない存在となっている。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	青少年指導員数の減少を防ぐとともに、メンバー変更時の引継ぎを容易にするため、経験豊富な人材については、青少年指導員協議会からの推薦という形で、指導員への就任を依頼している。
------------	----------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	各自治会から推薦される青少年指導員の高齢化や自治会員の減少により、指導員の確保が難しくなっている。
-----------------	---------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 青少年指導員の高齢化等による担い手不足への対策が必要である。
改革・改善策等の具体的内容	経験豊富な人材の確保に取り組むとともに、他団体と類似する活動については共同で実施していくなど事業のあり方について検討する必要がある。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	②青少年育成	1	健全育成の環境づくり

事業名	青少年育成事業	担当課名	スポーツ青少年課
-----	---------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
学校・家庭・地域が一体となって青少年の社会への興味・関心を育み、学習や活動を支援していくことで、青少年が夢を持って社会参画できるまちをめざす。
(事業概要等)
・青少年問題に関する総合的な審議を行う「青少年育成協議会」の運営 ・少年補導員への報償費の支払 ・青少年育成事業の委託(少年少女合唱団) ・放課後子ども教室における体験学習の実施

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,224	1,533	5,304	7,332	
うち市負担分(千円)	1,224	1,533	1,569	3,501	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
放課後子ども教室開催回数	回	-	1	6	12

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

令和4年度から、小学生を対象とした放課後の子どもの居場所作りのため、放課後子ども教室を実施した。令和5年度は、放課後子ども教室の実施について、3小学校において、計6回開催した。令和6年度については、前年度に実施した3校を自走可能な状態にしていくとともに、新規3小学校において、令和5年度と同様の事業をすすめていく予定である。

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	令和5年度については、放課後の子どもの居場所作りのため、みらい応援隊の方々を中心に、放課後子ども教室を市内3小学校で開催した。
------------	-----------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	各小学校及びみらい応援隊の方々の協力が不可欠なため、放課後子ども教室の実施の必要性について、理解を求めていく必要がある。
-----------------	--------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 上記課題について改善に取り組む必要があるため
改革・改善策等の具体的内容	子どもにとって、様々な経験ができる講座を実施する。講座の実施にあたっては、放課後子ども教室の実施等で実績のある民間業者に委託し、市域で講師として活躍できる人材の発掘支援やノウハウを提供してもらうことで、児童の継続的な健全育成に寄与する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供

事業名	留守家庭児童会運営事業、留守家庭児童会指導員配置事業、留守家庭児童会維持管理事業	担当課名	スポーツ青少年課
-----	------------------------------------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	留守家庭児童の安全確保と生活指導を行い、青少年の健全育成を図る。
(事業概要等)	各小学校に放課後児童クラブ(仲よし学級)を開設し、放課後に生活指導や生活習慣等の習得を図る。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	124,159	126,231	130,465	184,916	
うち市負担分(千円)	25,229	29,032	28,397	46,858	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
指導員の資質向上やプログラム充実のための研修会参加人数	人	137	81	159	90
放課後児童支援員有資格者	人	47	43	41	40
地域や企業等と連携して実施したイベント回数 (指標を設定できない理由)	回	8	15	16	16
(成果の概要)	指導員の資質向上を図るため、大阪府などが主催する研修を受講した。オンラインでの研修が増えたことや、放課後児童管理システム導入業者が主催する研修会等への参加を呼びかけたことで参加人数が飛躍的に増加した。 民間企業と連携したイベント(オンライン授業)を継続して実施し、遊びを通じて様々な学びを提供した。				

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	夏季長期休業期間中、市内全仲よし学級において、支援業務を委託し、人員の補強及び指導員の負担軽減に努めた。
------------	------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	利用者サービス向上等による利用者数増に対応するための指導員の人材確保と、施設の環境整備の継続した実施。
-----------------	-----------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 多様化する利用者ニーズに対応するため、運営の在り方について、調査研究を進める必要があるため。
改革・改善策等の具体的内容	R3年度より、延長保育(午後6時から午後7時まで)の実施や、長期休業期間限定の学童保育を民間企業に委託するなどし、サービスの向上に努めている。 今後も安心・安全な運営を安定して継続していくため、指導員の確保や、民間企業の活用等を視野に入れ調査研究を進める。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	2・3	文化・芸術・スポーツ活動への支援 各分野との交流・連携の充実
事業名	スポーツ振興事業		担当課名	スポーツ青少年課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市民の運動・スポーツ及びレクリエーションの普及振興と健康・体力づくりによる市民生活の向上を図る
(事業概要等)
各種スポーツ教室の開催やスポーツ振興を図るためのイベント等を開催する

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	10,516	9,364	10,758	15,281	
うち市負担分(千円)	3,532	9,364	9,128	13,329	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
スポーツ教室受講者数	人	7,643	11,080	9,853	10,000
スポーツ競技大会出場奨励金(個人・団体)	件	23	42	30	50
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
総合体育館大体育室が工事のため、スポーツ教室が開催できず受講者数が前年と比べ減少しているが、コロナ時と比較すると受講者数は増加傾向であることから、幅広い年齢層の市民に対し、健康・体力づくりを図ることができた。 また、令和2年度から、本市のスポーツ活動等の振興及び活性化を図ることを目的としたスポーツに関する全国的規模又は国際的規模の大会に出場する個人又は団体に対し、泉大津市スポーツ競技大会出場奨励金を交付している。令和5年度についても、全国的規模又は国際的規模の大会に出場する個人又は団体が多くあった。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	スポーツ競技大会出場奨励金要綱を改正することで、申請期間が1か月から年度内になり、奨励金制度の利用促進に繋がった。
------------	-----------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	総合体育館大体育室が空調工事のため、総合体育館の利用率が減少となった。
-----------------	-------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 市民の運動の機会を創出するために、スポーツの拠点である総合体育館及びその他の体育施設の稼働率を上げることが必要である。
改革・改善策等の具体的内容	様々な広告媒体を活かし、総合体育館及びその他の施設のPR活動を行い、総合体育館を利用しやすい環境を整備していく。 また、指定管理者によるイベント等を実施し、多くの市民が参加することで、運動の機会を創出を図る。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	2	文化・芸術・スポーツ活動への支援

事業名	団体等育成支援事業	担当課名	スポーツ青少年課
-----	-----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
泉大津市における運動・スポーツ振興のため、スポーツ関係者や団体の育成・支援を図る。
(事業概要等)
補助金の交付

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,488	2,380	3,240	4,572	
うち市負担分(千円)	1,024	1,760	1,742	4,572	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
大阪府総合体育大会総合成績	位	-	32	27	25
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、大阪府総合体育大会が中止になったが、令和4年度に大会が再開され、令和5年度については、総合成績が令和4年度を上回る27位となった。また、大会が再開されたため、日常的に体を動かす機会が増えた。 また、総合型地域スポーツクラブの事業を支援することにより、市内のスポーツ環境の育成に寄与できた。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	スポーツ協会における団体補助金の在り方について、一定の基準を設け整理することができた。
------------	---------------------------------------------

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	・加盟団体構成員の固定化と高齢化 ・総合型地域スポーツクラブについて、自主運営を可能とする体制づくり
-----------------	-------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) スポーツ人口の拡大のためにスポーツ協会・スポーツ推進協議会・総合型地域スポーツクラブは、協働の観点からも欠かすことができない。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	2	文化・芸術・スポーツ活動への支援

事業名	地域運動部活動推進事業	担当課名	スポーツ青少年課
-----	-------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の実現を目的とする。
(事業概要等)	合同部活動の推進に関する実践研究を実施し、研究成果を普及することで、合理的で効率的な部活動の展開を図る。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,135	577	1,422	3,120	
うち市負担分(千円)	0	5	146	3,120	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
地域の合同部活数	数	-	1	1	2
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和5年度から地域ダンスクラブがスタートし、各中学校から生徒が参加した。 また、今後の泉大津市における部活動のあり方について、各中学生、教員及び保護者向けに冊子を作成し、配布することができた。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	令和4年度にて、ダンスの体験会等の実証実験を行った経験を活かしたことで、地域運動部活動の土台を構築することができ、地域ダンスクラブを創設することができた。
------------	-------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	令和5年度から地域ダンスクラブがスタートしたが、資金面等の持続的な活動ができるような仕組みを構築していく必要がある。
-----------------	------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 教員の働き方改革及び生徒の居場所確保の観点から、事業を継続し、学校部活動の受け皿として、地域での活動の場を確保していくことが必要である。
改革・改善策等の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> 今回の成果指標については、参加者の満足度を指標として設定していなかったが、次年度以降、生徒にアンケートを実施し、参加者の満足度を成果指標として図っていく。 今後、学校部活動の受け皿として、地域運動部活動を増やしていくため、部活動数の指標を残していきたいと考える。まずは、休日の学校部活動を地域に移行し、教員の働き方改革を実現させていきたい。 	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	2	文化・芸術・スポーツ活動への支援

事業名	スポーツ施設管理運営事業	担当課名	スポーツ青少年課
-----	--------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市内9つのスポーツ施設を活用した健康・体力づくり及び市民の運動・スポーツ施設ならびにレクリエーションの普及振興と市民生活の向上を目的とする。
(事業概要等)
市内9つのスポーツ施設の包括的管理運営を行うにあたり、指定管理者制度を活用した管理運営事業を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	50,585	51,958	61,163	57,468	
うち市負担分(千円)	50,585	50,647	60,893	57,468	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
スポーツ施設利用人数(貸館)	人	121,635	153,203	119,146	160,000
スポーツ施設利用人数(個人利用)	人	16,834	21,640	22,246	23,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
個人利用については、市民に対して総合体育館の施設周知など利用促進を行ったことにより、増加傾向である。 また、令和5年度に空調設備を設置したことにより、快適にスポーツをできる環境を整えることができた。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	新型コロナウイルス感染症の影響による、利用人数の減少は徐々に改善された。また、今後のウィズコロナ対策など、運動する機会が少なくなった利用者への周知など利用促進に繋がる取り組みを行った。
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	令和5年度には、総合体育館大体育室の空調設備工事により、施設利用団体の使用率が大幅に減少したため、令和6年度に向けて利用促進を進めていく必要がある。
-----------------	----------------------------------------------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 指定管理者制度を活用した管理運営事業により、市民サービスの向上が図られているため。
改革・改善策等の具体的内容		